

岐阜県立看護大学大学院修士論文及び課題研究レポート最終試験審査基準

1. 看護実践の指導者としての態度・資質（人間性・良識、共感性、協調性、社会性、謙虚さ、誠実さ、リーダーシップ）を有している。
2. 看護実践の指導者としての幅広い知識教養（倫理、教育、管理）を有している。
3. 看護学に関する洞察を深めるとともに、看護実践の具体的課題に対する問題解決ができ、修了後も看護実践の改革に専心し、更なる研鑽ができる能力を有している。

岐阜県立看護大学大学院博士論文最終試験審査基準

- (1) 自律的、計画的、持続的に十分時間をかけて学位論文を作成している。
- (2) 積極的に看護実践研究の発表（学会等での研究発表、学会誌等への論文執筆）を行っており、今後もその継続が可能である。
- (3) 看護実践の研究能力を付与する教育を担う看護職者としての態度・資質（人間性・良識、共感性、協調性、社会性、謙虚さ、誠実さ、リーダーシップ）を有している。
- (4) 看護実践の研究能力を付与する教育を担う看護職者としての幅広い知識教養（倫理、教育、管理、政策、研究方法）を有している。
- (5) 今後の研究課題の展開や自立した教育・研究者としての見通しをもっている。